

「2012 ふれ愛グラソフ・ジャパンリーグ」代表者会議

2012.02.19

柏原市市民プラザ会議室

1 開会のことば

2 主催者挨拶

特定非営利活動法人ふれ愛びっく大阪クラブ

理事長 藤 森 洋 幸

3 2011 ふれ愛グラソフ・ジャパンリーグ決算報告

4 参加チーム紹介

- 和歌山黒潮あろうず（和歌山県）
- 大 阪 府（大阪府）
- S H I G A フェニックス（滋賀県）
- 奈 良 県（奈良県）
- サークスカラーズ（石川県）
- 大 阪 市（大阪市）
- セイガンズ（大阪市）
- 三 重 県（三重県）

5 競技役員紹介

6 「2012 ふれ愛グラソフ・ジャパンリーグ」大会要項について

7 「2012 ふれ愛グラソフ・ジャパンリーグ」表彰規定について

8 大会日程について

- * 4月 8日（日） 奈良県立心身障害者福祉センターグラウンド
- * 4月 22日（日） 大阪市立視覚特別支援学校ほか
- * 5月 6日（日） 奈良県立心身障害者福祉センターグラウンド
- * 6月 24日（日） 大阪府立久宝寺緑地『陸上競技場』
- * 9月 09日（日） 大阪府立久宝寺緑地『陸上競技場』

第2回ふれ愛カップ争奪グランドソフトボール大会

9 日程調整について

- * 月 日（日）
- * 月 日（日）

10 「2012 ふれ愛グラソフ・ジャパンリーグ」組み合わせについて

11 その他

2011ふれ愛グラソフ・ジャパンリーグ表彰式

チーム成績

優勝 大阪市

優勝	大阪市	7	勝	1	敗	
準優勝	セイガンズ	7	勝	1	敗	
第三位	三重県	5	勝	1	敗	2分
第四位	SHUGA フェニックス	4	勝	3	敗	1分
第五位	ワイルドジョーカーズ	4	勝	4	敗	
第六位	和歌山黒潮あろうず	2	勝	6	敗	
第七位	奈良県	2	勝	6	敗	
第八位	大阪府	2	勝	6	敗	
第九位	サーカスカローズ	1	勝	6	敗	1分

個人表彰

首位打者（全盲）	大阪府	仮家清裕	3割7分5厘
首位打者（晴眼・弱視）	ワイルドジョーカーズ	仙田庸人	9割1分7厘
打点王（全盲）	大阪市	山田雄春	6打点
打点王（晴眼・弱視）	セイガンズ	山岡正人	17打点
本塁打王（晴眼・弱視）	三重県	兵後正剛	4本
長打王（全盲）	大阪市	三井渉	2本
最多勝利	大阪市	井口幸夫	5勝1敗
最優秀防御率	三重県	濱野彰浩	2.78点

受賞おめでとうございます。2012ふれ愛グラソフ・ジャパンリーグも、連続受賞目指して頑張ってください。また、残念ながら受賞されなかった選手の皆さん、受賞目指して頑張ってください。ふれ愛びっく大阪クラブも、選手の皆さんに喜んでいただくよう、精一杯頑張りますので、よろしくお願ひします。

「2012 ふれ愛グラソフ・ジャパンリーグ」大会要項

1 目 的

視覚障害者がグランドソフトボール競技を通じて、体力の維持・増強に努め、勇気と希望をもって、逞しく生きてゆく能力を助長するとともに、この競技に関心を持つ健常者の参加を得て、障害者スポーツの振興と障害者福祉の増進を、また、広く健常者との交流を図り、社会への障害者スポーツに対する理解と関心を深めることを目的とする。

2 主 催

特定非営利活動法人 ふれ愛びっく大阪クラブ

3 主 管

特定非営利活動法人 ふれ愛びっく大阪クラブ

4 後 援

全日本グランドソフトボール連盟、中日本グランドソフトボール連盟
大阪府、大阪市、八尾市、大阪府障害者スポーツ振興協会、大阪市障害者福祉・スポーツ協会、（財）大阪府視覚障害者福祉協会、（社）大阪市視覚障害者福祉協会、八尾市ソフトボール協会、やおコミュニティ株式会社、大阪日日新聞社

5 協 賛

大阪阿倍野ライオンズクラブ、株式会社モルテン、近畿日本ツーリスト株式会社
サミージャパン株式会社

6 日 時

2012年4月 ～ 11月

7 会 場

大阪府立久宝寺緑地「陸上競技場」ほか
チームが所属する都道府県市で開催（チームが責任を持って開催 順番制）

8 競技運営

[1] 競技規則

運用する競技規則は、2011年全日本グランドソフトボール連盟競技規則を準用する

[2] 競技方法

参加チーム総当りリーグ戦とする。

リーグ戦は、7 回または 1 時間 30 分の所要時間を持って終了する。ただし、1 時間 20 分を超えて新しいイニングに入らないものとする。

延長戦は、上記試合時間内で実施する。

代表者会議で決定された事項、特別グラウンドルールを競技規則としてそれぞれ採用することがある。

[3] チーム

障害者・晴眼者で構成されたグラウンドソフトボールチームとする。

選手登録は 30 名とし、その年間内での登録変更（チーム間の移動）は認めない。なお、どのチームにも登録していない選手の追加登録は、随時認める。

チームとして特定非営利活動法人ふれ愛びっく大阪クラブ「正会員」(会費 年間 5,000 円) に加入のこと

チームがある地域で、原則として本大会を主管すること。

代表者会議・ルール研修会に必ず参加すること（2 月 19 日大阪で開催）

[4] 雨天・荒天の取り扱い

開催の中止などは、主催者・主管チームにおいて決定し、各チーム代表者に連絡する。

9 表彰

[1] 勝率により、優勝チームを決定し表彰する

[2] 最優秀選手・優秀選手等個人表彰を行う（別途表彰規定に基づく 公式記録による）

投手部門 成績を公表（随時）

打者部門 成績を公表（随時）

10 参加費

60,000 円（2011 ふれ愛グラソフ・ジャパンリーグ実績 予定）

11 その他

記載の無い事項については、大会主催者・主管者が協議・決定し、チーム代表者に通知・連絡する。

< この大会に関する問い合わせ >

特定非営利活動法人

ふれ愛びっく大阪クラブ

事務局 藤森洋幸

〒582-0009 柏原市大正 1-4-24

TEL・FAX 072-972-4512

携帯電話 090-8211-7158

Eメール fujimori@kawachi.zaq.ne.jp

「2012 ふれ愛グラソフ・ジャパンリーグ」順位決定・表彰規定

順位決定

1	勝利数規定	勝利数の多い方を上位とする。
2	当該チーム勝者優位規定	直接対戦の勝者を上位とする。 但し、勝利数同数が2チームの場合とする。
		勝利数同数が3チーム以上の場合は(3)項以降で決定する。
3	勝ち点規定	勝ち点の多い方を上位とする。 「勝ち」を+1点、「負け」を-1点、「引き分け」を0点とする。
4	得失点差規定	得点と失点の差が多い方を上位とする。
5	失点規定	失点の少ない方を上位とする。
6	完封試合規定	完封試合勝利の多い方を上位とする。

以上の規定を「1」～「6」の順に優先し順位を決定し、同率順位はないものとするが、なおかつ決しない場合については理事会にて協議する。

表彰規定等

1 チーム表彰 優勝チーム

2 個人表彰	投手部門	防御率	1.4	投球回数	以上
		最多勝利	3	勝	以上
	打撃部門	打率	1.4	規定打数	以上
		打点	5	打点(弱視・晴眼)	以上
			3	打点(全盲)	以上
		本塁打	3	本(弱視・晴眼)	以上
			1	本(全盲)	以上
	長打賞	2	本(全盲)	以上	

(打撃部門のみ弱視・晴眼選手・全盲選手各々から選出)

規定投球 投手の規定投球回数は $7 / 3 \text{ 回} \times 7 \text{ 試合} = 16.3$ 16回以上とする。

規定打数 打者の規定打席数 $(21 + 1) \div 10 \times 7 \text{ 試合} = 11.6$ 16打席以上とする。

2012 ふれ愛グラソフ・ジャパンリーグ競技役員

大会顧問	井上 誠一・柿内 健作・川口 衷
大会会長	藤森 洋幸
大会副会長	赤松 保夫・古城 吉員
競技委員長	堀川 俊純
競技副委員長	中尾 雅宣・北山 武・松野 宏信
総務委員長	中尾 雅宣
総務副委員長	仲 廣好・飴谷 和美
審判委員長	廣谷 美雪
審判副委員長	高松 行雄・梁川 武
審判員	栄田 保二・川村 史朗・角方 鈴子・北山 武・河野 隆 古城 吉員・小島 新吉・杉原 利治・田守 哲男・田 豊市 仲 廣好・藤森 洋幸・堀川 俊純・牧嶋 好晴・松野 宏信 松山 昭男・溝上 清香・宮脇 正一・村上 義一・若林 隆夫
記録委員長	奥野 繁
記録副委員長	大谷 和之・富士元元子
記録主任	杉原 政代・杉原 利治
記録員	北国 實男・中西 秀夫・西山 貴美・松本 太一・山田 幹雄
球場委員長	田守 哲男
球場副委員長	牧嶋 好晴・若林 隆夫

ボランティア 大阪府スポーツボランティア「モッピークラブ」
開催チーム地元ボランティア